

学校研究

① 研究主題

かかわり合いを通して「豊かな学び」を ～読む力・話す力の育成を目指して～

主題設定の理由

昨年度は、「かかわり合いを通して『豊かな学び』を」を研究主題とし、「かかわり合いを通じた読む力・話す力の育成」を重点として取り組んだ。叙述や問題文、図や結果などから根拠となる部分に印をつける習慣が身につく、自分の考えをもつ「読む力」や交流相手を自ら選択して交流する中で根拠を指し示しながら説明する「話す力」の向上がみられた。しかし、根拠をもとに考えをもったり複数の根拠を関連づけて学びを深めたりすることが難しい、考えを一方向的に伝えていて主体的・対話的な学びに至っていない等、「かかわり合い」における課題が挙げられる。主体的・対話的交流を通して読む力・話す力の育成と深い学びの実現に向けて、手立ての工夫が必要である。

教育目標「創造性を育む」に迫るため、今年度も研究主題を「かかわり合いを通して『豊かな学び』を」、副題を「読む力・話す力の育成を目指して」と設定する。子ども達が、様々な人やものとかかわり合う中で、自分の考えをとらえ直し、よりよいものに再構築して学びを深める基盤となる読む力の向上に取り組んでいく。また、他者とかかわり合いを通して、思いやりの心やたくましく生きる力、子ども同士で考えを出し合い、話す力の向上に取り組んでいく。このようにして、考えを広げたり深めたりしながら主体的に学ぶ力を伸ばし、学びの「豊かさ」を育んでいきたい。

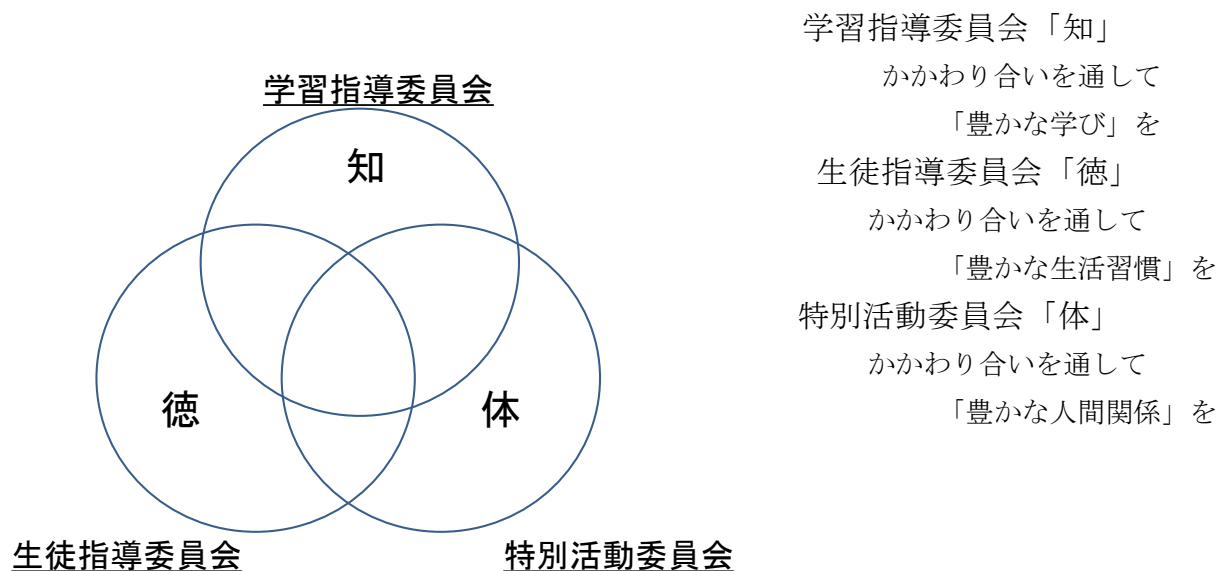
② 研究組織

研究主題に迫るため、学校の教育活動全体を三委員会からアプローチし、子どもを体系的に育てていく。その際、あらゆる教育活動にかかわり合いを大切に活動することを重視する。

	学習指導委員会 「知」	生徒指導委員会 「徳」	特別活動委員会 「体」
知 徳 体	かかわり合いを通して 「豊かな学び」を	かかわり合いを通して 「豊かな生活習慣」を	かかわり合いを通して 「豊かな人間関係」を

三委員会（学習指導、生徒指導、特別活動）の学校教育活動全体で、研究主題に迫る取組をして学校教育目標に迫る。

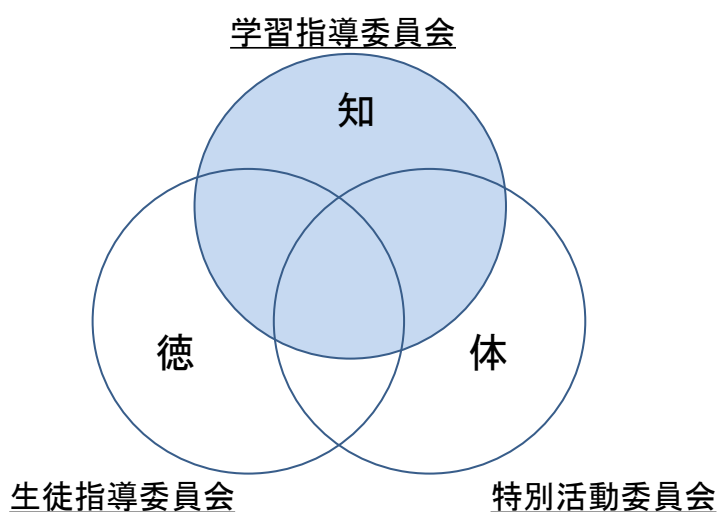
生徒指導や特別活動の場において、学習で身につけた読む力・話す力や話し合いのスキルを活用する。根拠を明確にして自分の考えをもち、それを伝え、相手の考えをよく聞いて話し合う力は、学校生活や行事をよりよくするために役立つとともに、学習活動中の対話的交流の実現や主体的学びにつながると考える。



(3) 学習指導委員会

学習指導委員会「知」

かかわり合いを通して
「豊かな学び」を



① 学習指導委員会のテーマ

かかわり合いを通して「豊かな学び」を

めざす教職員像と子ども像

教師と子どもがともに、自分で考え 判断・行動して豊かな学びを目指す

友達とのかかわり合い、学び合う学習を通して読む力・話す力を育成し、「豊かな学び」ができるようにしていく。「豊かな学びの姿」とは、具体的な姿として「対話的交流をすることによって考えをもつ姿・変容する姿・深まる姿・根拠をもとに考えをもって話す・説明する姿」ととらえる。テーマ「かかわり合いを通して『豊かな学び』を」について、友達とのかかわり合い、学び合う学習を通して、読む力・話す力・思考力・判断力・表現力を身につけることを目標とし、以下を研究の重点として設定し、研究を進めていく。

重点

かかわり合いを通した読む力・話す力の育成

重点 かかわり合いを通した読む力・話す力の育成

児童がかかわり合いの中で考えを深め合う基盤となる読む力・話す力をつけるためには、根拠を明確にして考えたり伝えたりすることが重要であると考え。そして、根拠を明確にするためには、叙述や問題文、図や結果などの事実から根拠となる部分を読み取る力が必要である。見方・考え方を働かせながら「なぜそう考えるのか」の根拠を読み取ることが、読む力の育成につながると考える。また、根拠を示しながら交流相手を選択するなどして考えを繰り返し伝え合うことで、根拠と根拠がつながったり関連付けられたりして考えが深まり、話す力が育成されることが考えられる。そこで、根拠を明確にして考え、伝え合う取り組みを共通実践として行い、読む力・話す力の育成を目指す。

重点に関わる共通実践

○根拠を明確にして考えをもつための指導の工夫

- ・叙述や問題文、図や結果などの根拠となる部分を見つけるために印をつけたり視写をしたりする。
- ・学年や教科に応じて複数の根拠をもとにして考えをもたせる指導をする。
 - *叙述や問題文、図、結果、写真、体験、資料、インタビューなどで聞いたこと、表、グラフ、数直線などを根拠と捉える

○主体的・対話的な交流にするための指導の工夫

- ・ペアやグループ、全体で交流する際、根拠を指し示しながら分かりやすく説明できるように指導する。
- ・必要感のある交流になるような課題や発問、交流の形態・場を吟味し、児童自ら交流相手を選択させる。

○その他

- ・読む力・話す力をつけるための共通実践を意識的に取り入れ、定期的に戻す。
- ・丸付けや直しを徹底するなど教師の指導のもと、確実にやる。
- ・正しい学習用語を使っていけるように、板書で位置づけるなどして指導する。

研究主題

かかわり合いを通して豊かな学びを

副題

～読む力・話す力の育成を目指して～

教科で身につけたい資質・能力

思考力・判断力・表現力

根拠を明確に
して考えをも
つための工夫
根拠をはっきりさせ
て④を書く

重点
かかわり合
いを通した
読む力・話
す力の育成

主体的・対話的
な交流にするた
めの工夫
交流を通して根拠を関
連付けて考えを深める

家庭学習の定着

① 基礎学力の定着

学習規律の定着
「ノートの鉄人」

② 学習マナーの徹底

朝学習の充実

教科書の音読、暗唱 俳句作り
漢字練習 トークバトル 読む話すプリント
計算練習 など

③ 読む力・話す力の向上

「豊かな学びの姿」をめざすために、「金沢型学習スタイル」を基にした「授業構築森山スタイル（共通実践）」を実践し、研究していく。

「金沢探究スタイル」に基づいた授業構築森山スタイル（実践例）

太字…重点に関わる共通実践

